

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	湿気小委員会	主 査 名：岩前 篤 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (熱環境運営委員会)	委員長名：田辺 新一 主 査 名：須永 修通
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	2013 年度： ・湿気関連の諸問題の整理とその解決に向けて意見交換を行う。 ・重要な問題について 5 つの WG を設置し、積極的に支援する。 ・2014 年度の熱環境運営委員会主催の「熱シンポジウム」の開催を検討する。 2014 年度： ・熱シンポジウムを開催する。また、初年度の活動を継続する。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：岩前 篤 (近畿大学) 幹事：安福 勝 (近畿大学) 委員：佐藤 真奈美 (大阪工業大学)、青木 哲 (岐阜工業高等専門学校)、荒井 良延 (鹿島建設)、小椋 大輔 (京都大学)、尾崎 明仁 (京都府立大学)、坂本 雄三 (建築研究所)、鈴木 大隆 (北海道建築総合研究所)、高田 暁 (神戸大学)、永井 久也 (三重大学)、銚井 修一 (京都大学)、本間 義規 (岩手県立大学)、水谷 章夫 (名古屋工業大学)、松岡 大介 ((株)ポラス暮らし科学研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)	①建物の湿害評価法構築 WG：建築物内外の湿害の定義ならびに定量化 ②吸放湿性能評価と予測手法 WG：吸放湿特性の定量化と予測手法の整理・開発 ③文化財の保存と公開における熱湿気環境 WG：文化財保護の温湿度環境の整理 ④湿気環境と健康 WG：湿度が人体健康性に与える影響を明確化 ⑤建物全体の温湿度環境評価 WG：建築物全体の物質移動モデルを構築整理	
2013 年度予算	173,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 湿気関連の諸問題の整理とその解決に向けて意見交換を行った。 2. 5 つの WG を設置し、積極的に支援した。 3. 2014 年度の熱環境運営委員会主催の「熱シンポジウム」の開催を検討した。
委員会活動の問題点・課題	1. 成果物の作成、公表が遅れた。 2. 熱シンポジウムの開催検討のために、WG レベルでのシンポジウムなどの開催ができなかった。

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。
- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2013 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果物の作成、公表が遅れた。 ・ 熱シンポジウムの開催検討のために、WG レベルでのシンポジウムなどの開催ができなかった。 			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。